

# グローバルESGバランスファンド

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

年2回決算型 / 隔月分配型

愛称: **ブルー・アース**

追加型投信 / 内外 / 資産複合

## 目次

- 1. パフォーマンスの振り返り … P.1
- 2. 足元のQ & A … P.2～7
- 3. リバランス機能のご紹介 … P.8

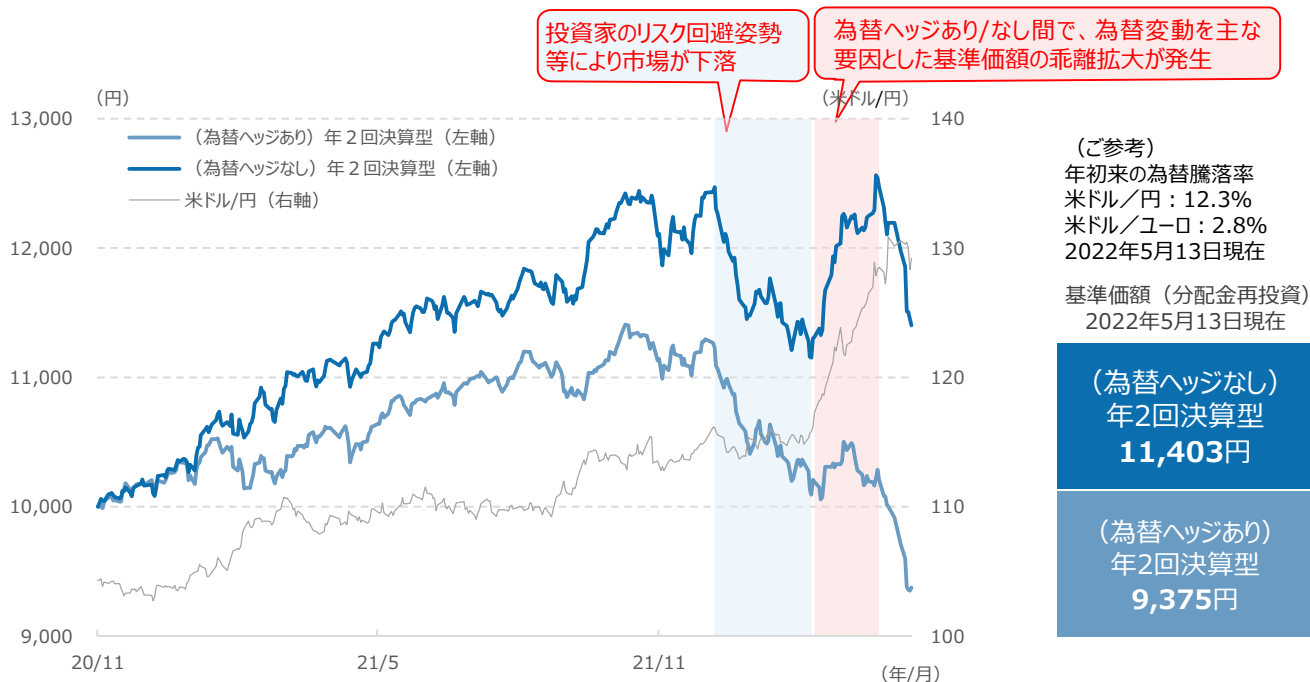
## 1. パフォーマンスの振り返り

グローバルESGバランスファンドの年2回決算型の基準価額（分配金再投資）は、2022年に入り、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ抑制に向けた姿勢を強化し金利上昇が懸念されたこと、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから株式市場などが下落し、不安定な動きとなっています。なお、(為替ヘッジなし)は、為替市場において円安・米ドル高が進行したことが、基準価額にプラス寄与しました。

当レポートでは、足元の投資環境を受けて投資家の皆様から頂戴する声に対する弊社の考え方などを、ご紹介してまいります。

### 年2回決算型の基準価額（分配金再投資）の推移

期間：2020年11月30日（設定日）～2022年5月13日、日次



基準価額（分配金再投資）については、9ページをご参照ください。  
 (出所) ブルームバーグのデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

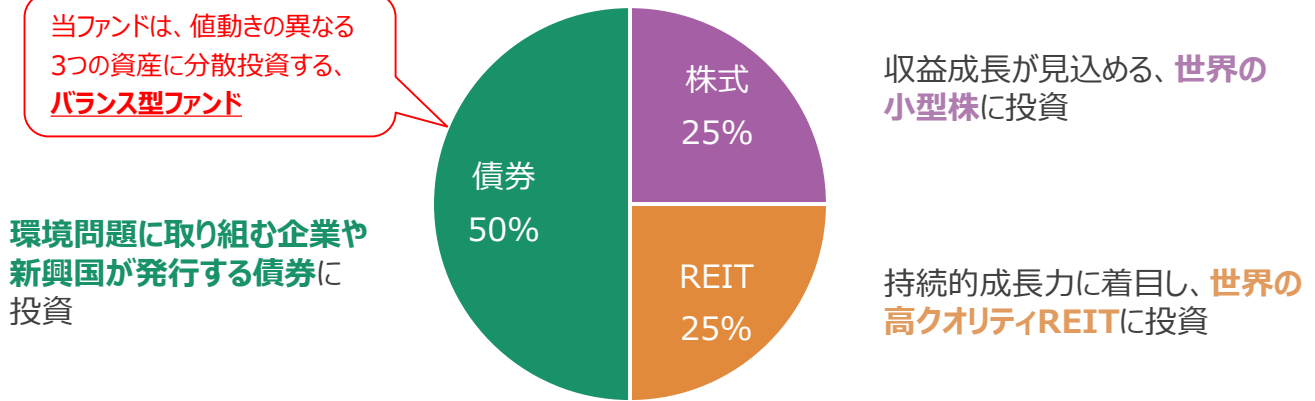
## 2. 足元のQ&A ～ボラティリティの高まりについて①～

### Q1: 株式市場や為替市場など、値動きの幅（ボラティリティ）が大きくなっているのが心配です。

#### <3つの資産への分散投資が効果を発揮>

- ✓ 当ファンドはESGの観点から考慮して、世界の債券、株式、REITの3つの資産に分散投資をしています。
- ✓ 3つの資産に分散投資することで、相対的にリスクを抑え、安定的な高いリターンが期待できます。

#### 当ファンドの基本投資配分



資金動向、市場動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 当ファンドと各資産のリスク・リターン

期間：2020年11月末～2022年4月末、月次、円換算ベース

	(為替ヘッジなし) 年2回 決算型	(為替ヘッジあり) 年2回 決算型	先進国 社債	新興国 国債	小型株	世界 REIT
年率 リターン	15.0%	0.0%	5.9%	4.0%	23.8%	37.7%
年率 リスク	10.1%	9.0%	6.0%	9.3%	15.0%	17.1%

#### POINT /

小型株や世界REITなどの資産を単一で保有した場合と比較し、リスクが抑えられていたことが確認できます。

(為替ヘッジなし)のリスク水準は、新興国国債を小幅に上回る程度

・(為替ヘッジなし)年2回決算型、(為替ヘッジあり)年2回決算型は基準価額(分配金再投資)  
 ・先進国社債：ICE BofA US Corporate Index  
 ・新興国国債：J.P.Morgan EMBI Global Diversified Index  
 ・小型株：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモール・キャップ  
 ・世界REIT：S&P先進国REIT指数  
 上記指数は全て配当込み、米ドルベースを基に野村アセットマネジメントが独自に円換算したものと(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込み】に際してのご留意事項を必ずご覧ください。

## 2. 足元のQ&A ～ボラティリティの高まりについて②～

### Q2: 中でも、株式市場の値動きが大きくなっていますが、投資対象とする小型株の見通しは？

#### <小型株の長期的なパフォーマンスと、足元の割安感に注目>

- ✓ 長期で見た場合に、小型株は株式市場全体（世界株式）を上回るパフォーマンスとなりました。
- ✓ 予想PER（株価収益率）を見ると、世界の株式市場は過去10年の平均値と比較し、2022年4月末現在、割安な水準にあります。小型株の予想PERは、過去10年の最低水準に接近していることから、さらに割安な水準にあります。

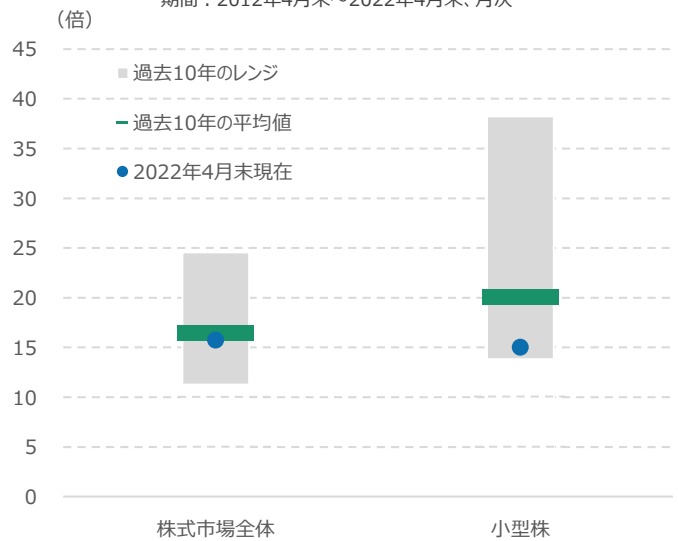
#### 世界の株式市場全体と小型株の長期推移

期間：2002年4月末～2022年4月末、月次、米ドルベース



#### 予想PER（株価収益率）の比較

期間：2012年4月末～2022年4月末、月次



足元の小型株のPERは、過去10年の平均値を下回っていることに加え、同期間の最低水準に接近しており、相対的に強い割安感を提示

#### 保有期間別の平均リターン

期間：2002年4月末～2022年4月末、月次、米ドルベース

	3年間	5年間	10年間
株式市場全体	31.1%	51.2%	117.1%
<b>小型株</b>	<b>37.7%</b>	<b>63.1%</b>	<b>153.6%</b>

小型株は、中長期で投資することで、株式市場全体のパフォーマンスを上回る傾向

・株式市場全体：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み）  
・小型株：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモール・キャップ（配当込み）

（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## 2. 足元のQ&A ～金利の上昇について～

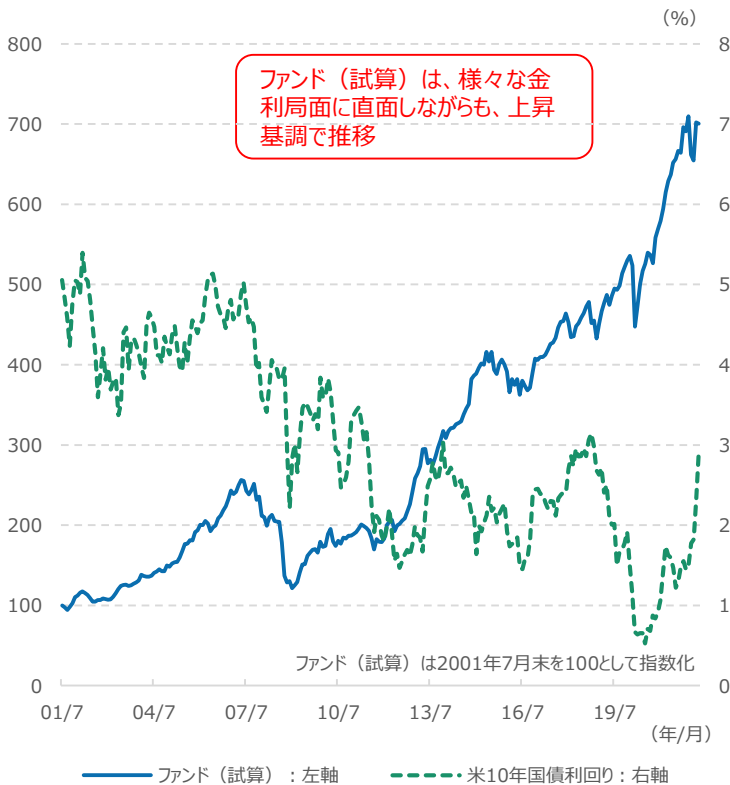
### Q3: 足元、金利の上昇が懸念されていますが、金利上昇局面ではどうなのでしょう？

#### <株式やREITに分散投資することで、金利上昇リスクも分散>

- ✓ 当ファンドは、一般的に景気の回復期や拡大期など、金利上昇局面に強いとされる株式やREITに資産の半分を投資することを基本としています（2ページご参照）。
- ✓ 過去のシミュレーションベースのファンド（試算）のパフォーマンスを見た場合、金利上昇局面においても堅調なパフォーマンスとなる傾向が見られました。
- ✓ なお、投資環境は刻一刻と変わることから、利子収入を着実に積み上げ、景気の後退期に強みを発揮する債券に投資する当ファンドの投資意義に変わりはありません。

#### ファンド（試算）の長期シミュレーションと米10年国債利回りの推移

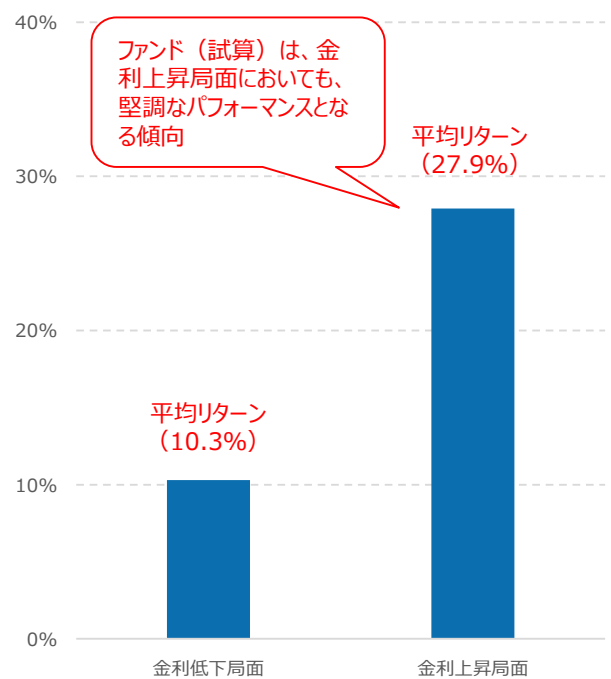
期間：2001年7月末～2022年4月末、月次



・米10年国債利回り：ブルームバーグ・ジェネリック  
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### 金利の低下/上昇局面におけるファンド（試算）の平均リターン

期間：2001年7月末～2022年4月末、月次



・上記の金利低下/上昇局面は、月末における米10年国債利回りが、1年前の同月末と比較して1%を超えて低下/上昇した局面を指し、平均リターンは、各局面に対応する期間におけるファンド（試算）の年間リターンの平均値。

・米10年国債利回り：ブルームバーグ・ジェネリック  
（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

ファンド(試算)は、2001年7月末から2020年11月末までの過去データを用いたシミュレーション結果に、各マザーファンドの設定日（2020年11月30日）以降の運用実績をつなぎあわせたものであり、ファンドの運用実績ではありません。詳しくは10ページをご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 2. 足元のQ&A ～インフレの加速について～

### Q4: 食品やエネルギーの価格が上がるなど、インフレ率も加速しているようですが、どうなのでしょう？

#### <過去、インフレの加速時も減速時も、概ね同等のパフォーマンス>

- ✓ 米国では、経済正常化に伴う行動規制の解除や、ロシア・ウクライナ情勢の影響などもあり、インフレ率の上昇が加速しています。
- ✓ ファンド（試算）は、過去の米国インフレ率の加速時も減速時も、平均すると概ね同等のリターンとなりました。

#### 米国消費者物価指数（CPI）の推移

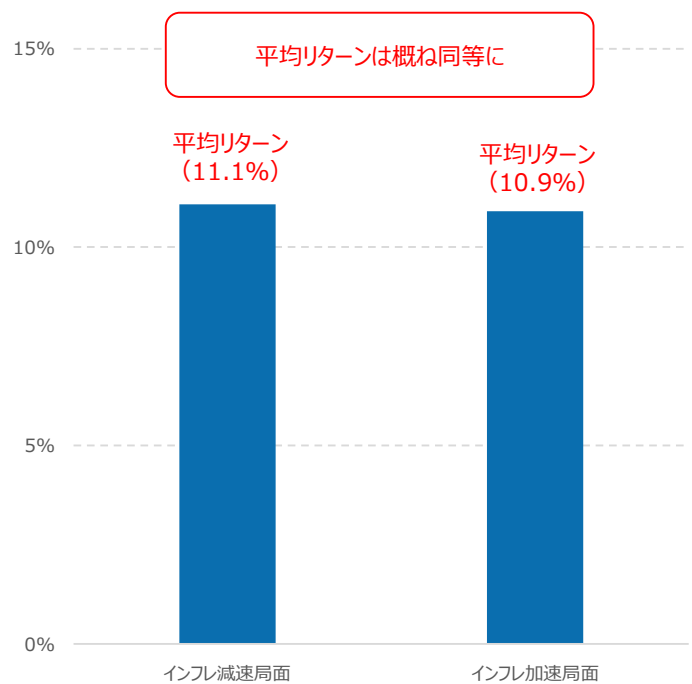
期間：2001年7月末～2022年4月末、月次



(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### 米国CPIの減速/加速局面における ファンド（試算）の平均リターン

期間：2001年7月末～2022年4月末、月次



・上記のインフレ減速/加速局面は、米国CPIが1年前の水準と比較して低下/上昇した局面を指し、平均リターンは、各局面に対応する期間におけるファンド（試算）の年間リターンの平均値。

(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

ファンド(試算)は、2001年7月末から2020年11月末までの過去データを用いたシミュレーション結果に、各マザーファンドの設定日（2020年11月30日）以降の運用実績をつなぎあわせたものであり、ファンドの運用実績ではありません。詳しくは10ページをご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

## 2. 足元のQ & A ～長期投資の効果について～

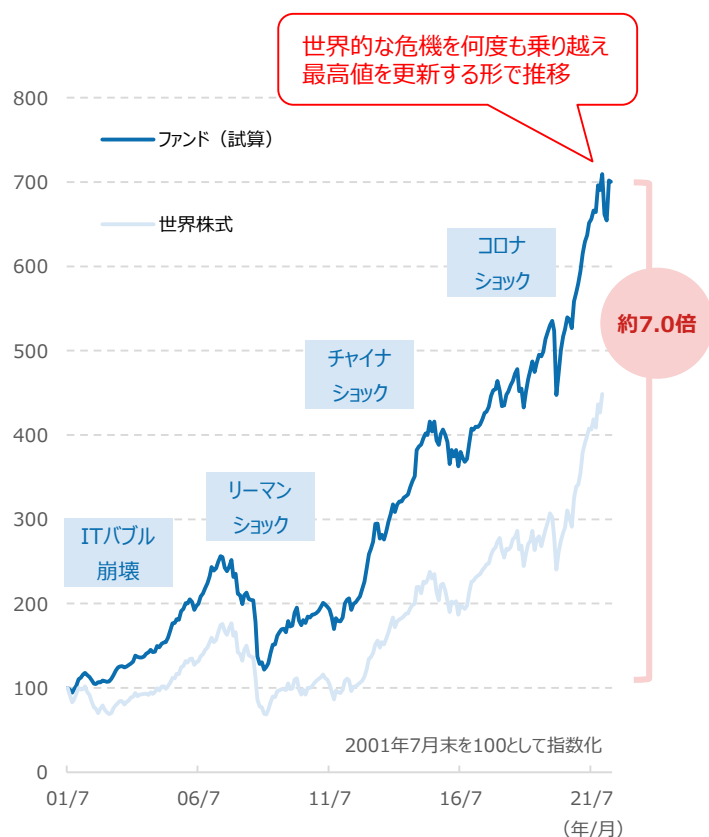
### Q5: 懸念材料の多い投資環境ですが、長期投資についてはどうでしょうか？

＜中長期で投資を継続することが、結果としてパフォーマンスを安定・改善させる効果に＞

- ✓ ファンド（試算）は、これまでも数々の世界的な危機を乗り越え、基本的に最高値を更新する形で推移してきました。
- ✓ また、長期で投資するほど、リターンがプラス圏で安定する効果が見られました。

#### ファンド（試算）の長期シミュレーション

期間：2001年7月末～2022年4月末、月次

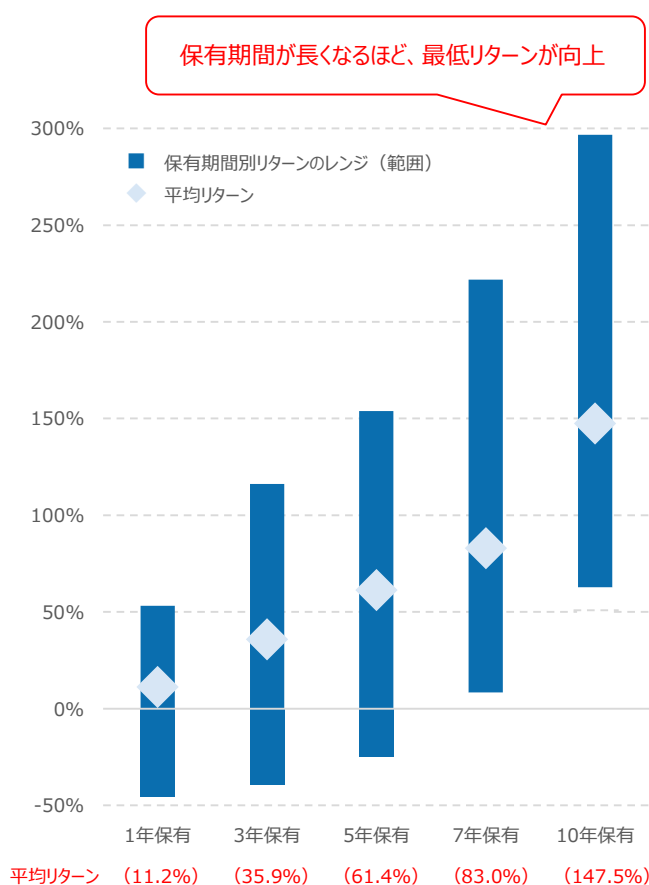


・世界株式：MSCIオール・カンtry・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）米ドルベースの指数を基に野村アセットマネジメントが独自に円換算したもの

（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### ファンド（試算）の保有期間別リターン

期間：2001年7月末～2022年4月末、月次



ファンド（試算）は、2001年7月末から2020年11月末までの過去データを用いたシミュレーション結果に、各マザーファンドの設定日（2020年11月30日）以降の運用実績をつなぎあわせたものであり、ファンドの運用実績ではありません。詳しくは10ページをご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 2. 足元のQ & A ～ ESG投資と長期投資について～

### Q6: ESG投資と長期投資の関係性について、改めて教えてください。

#### <長期的な社会的課題の解決と、長期的な投資リターンの向上を目指すESG投資>

- ✓ ESG投資とは、企業活動を通じて環境（E）や社会（S）の課題解決に貢献しガバナンス（G）の適正化に取り組む企業へ投資しつつ、収益を追求する投資手法です。
- ✓ ESG課題に取り組む企業へ資金が集まることで、持続可能な社会を支える事業が成長しやすくなります。ESGの取り組みで高い評価を得る企業は、企業価値が向上しやすくなるほか、潜在的な不祥事のリスクが軽減されるため、長期的な投資リターンの向上が期待できます。
- ✓ 長期的な社会的課題の解決と、長期的な投資リターンの向上を目指すESG投資は、相性のよい組み合わせといえます。

#### ESG投資と投資リターンの関係（イメージ）



#### 世界のESG投資残高の推移



#### POINT /

ESG投資は、人類が直面する長期的な課題の解決と、持続的な資産成長の実現を目指す投資手法として、今後も拡大していくと考えられます。

(出所) Global Sustainable Investment Allianceのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

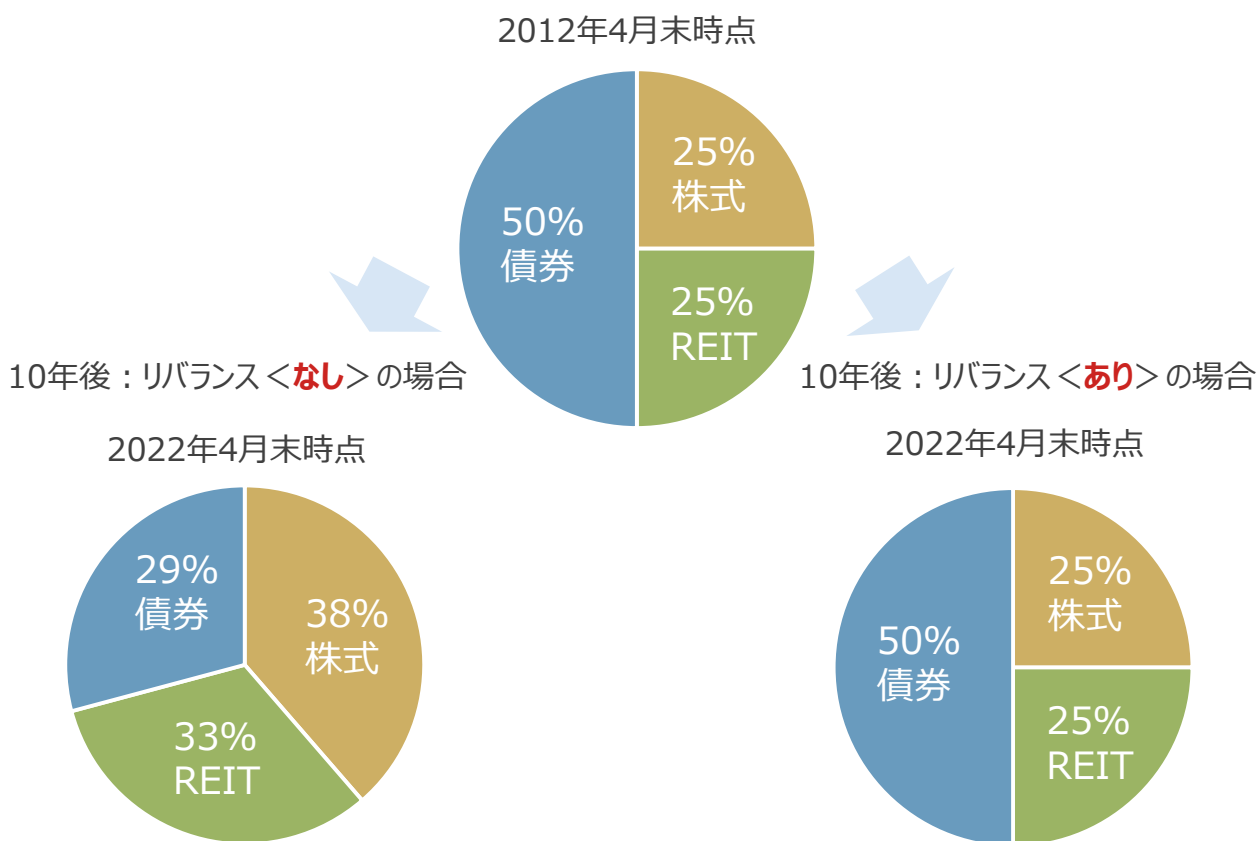
\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

### 3. リバランス機能のご紹介

#### 長期の資産運用においては、資産のバランスを整える「リバランス」が重要に

- ✓ 特定の資産への配分比率が過度に高く（低く）なることを防ぎ、ポートフォリオ全体のリスクが意図せぬ水準とならないよう管理する投資手法の一つに「リバランス」が挙げられます。
- ✓ 当ファンドは、市場が日々変動する中で「お客様に代わってファンドの資産配分を管理」しています。市場変化を過度に気にすることなく、手間を掛けずに、中長期で保有頂ける商品性となっております。

#### 債券50%、株式25%、REIT25%のポートフォリオを リバランスしなかった場合とした場合の、10年後のポートフォリオの変化<例>



- リバランスしなかった場合、市場変動により株式やREITの比率が高まっている一方で、債券比率が小さくなり、当初想定したよりもリスク水準が高いポートフォリオになりました。

- 定期的なリバランスを行うことで、当初想定していた比率で運用を行なうことができ、リスクの取り過ぎを防ぐことができます。

期間：2012年4月末～2022年4月末の10年間

・債券：FTSE世界国債インデックス、株式：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス、REIT：S&P先進国REIT指数（いずれも配当込み、米ドルベース）

・上記は2012年4月末から債券50%、株式25%、REIT25%の比率で投資を開始し、毎月末時点で当初の比率へリバランスをしなかった場合とした場合の、10年後のポートフォリオ構成を比較（出所）ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

#### リバランスとは？

時間の経過や資産価格の変動により、実際の投資比率と基本投資配分に差異が生じた場合、値上がりした資産を売却し、値下がりした資産を買い増すことで、定期的に投資比率を所定の配分に戻しながら（リバランスしながら）運用を行なうことです。

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。



## ファンドの運用状況

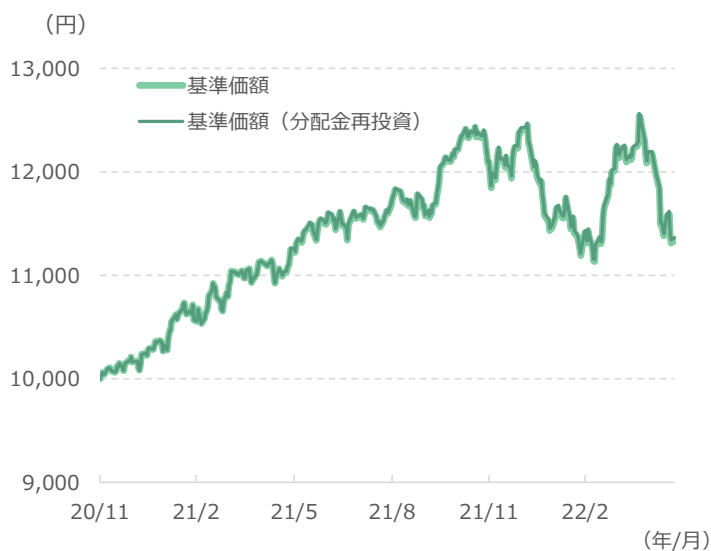
### 基準価額の推移

期間：2020年11月30日（設定日）～2022年5月23日、日次

（為替ヘッジあり）年2回決算型



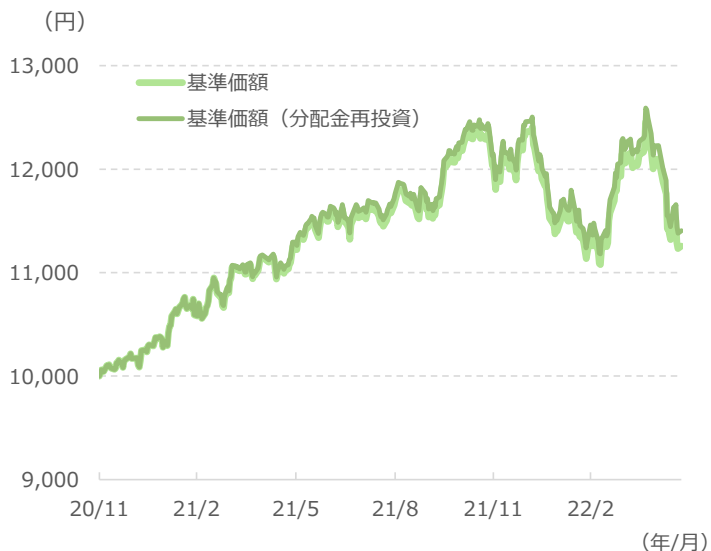
（為替ヘッジなし）年2回決算型



（為替ヘッジあり）隔月分配型



（為替ヘッジなし）隔月分配型



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

#### <ファンド（試算）の前提条件について>

ファンド（試算）は、下記の条件に基づき野村アセットマネジメントが試算したシミュレーション結果に、各マザーファンドの運用実績をつなぎあわせたものであり、**実際のファンドの運用実績ではありません**。ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。すべて円ベース。シミュレーション結果は、配当込み、米ドルベースのリターンを委託会社に円換算したものを使用しています。運用管理費用や取引コスト等は考慮していません。

2001年7月末から2020年11月末は、以下の資産ごとのシミュレーション結果を、債券50%、株式25%、REIT25%の割合で合成したシミュレーション値を使用しています。

**債券**：下記の先進国社債を70%、新興国国債を30%の割合で合成したシミュレーション値です。

<先進国社債> ICE BofA US Corporate Index（米ドル建て社債の代表的な指数）の構成銘柄を投資ユニバースとします。野村アセットマネジメントが独自に算出するESGスコアに基づき、環境や気候変動の評価が一定以下の発行体を投資ユニバースから除外し、残った発行体に等金額で投資すると仮定します。なお、一つの発行体が複数の債券を発行している場合は、各銘柄に等金額で投資すると仮定します。ESGスコアは、2020年3月以前は2020年3月のスコアを、2020年3月以降は月次で算出する各時点のスコアを活用し、以上により算出したリターンを使用しています。また、リバランスは月次で行ないます。

<新興国国債> J.P.Morgan EMBI Global Diversified Index（米ドル建て新興国国債の代表的な指数）の構成銘柄を投資ユニバースとします。野村アセットマネジメントが独自に算出するESGスコアに基づき、環境や政策持続性の評価が一定以下の国を投資ユニバースから除外し、残った国に等金額で投資すると仮定します。なお、一つの国が複数の債券を発行している場合は、各国別指数の構成比率に沿って投資すると仮定します。ESGスコアは、年次で算出、リバランスは年次で行ないます。2013年12月までは指数のリターンを使用し、2014年1月以降は以上により算出したリターンを使用しています。

**株式**：2001年8月～2016年3月については、マザーファンドを運用するACIの類似の運用戦略である「ACIグローバル（除く米国）小型株式」の実績を使用し、2016年4月以降については、「ACIグローバル小型株式」の実績を使用しています。

**REIT**：2001年8月～2011年5月については、S&P先進国REIT指数のリターンを使用し、2011年6月以降については、マザーファンドを運用するACIの類似の運用戦略である「ACIグローバルREIT」の実績を使用しています。

各マザーファンドの設定日（2020年11月30日）以降は、各マザーファンドの月末時点の基準価額騰落率を月次リターンとして、先進国社債35%、新興国国債15%、株式25%、REIT25%の割合で合成した値を使用しています。

#### <当資料で使用了指数について>

- 「ICE BofA US Corporate Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社（「ICEデータ」）の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。
- J.P.Morgan EMBI Global Diversified Indexは、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。
- MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモール・キャップ、はMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- S&P先進国REIT指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。
- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## 分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。
- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

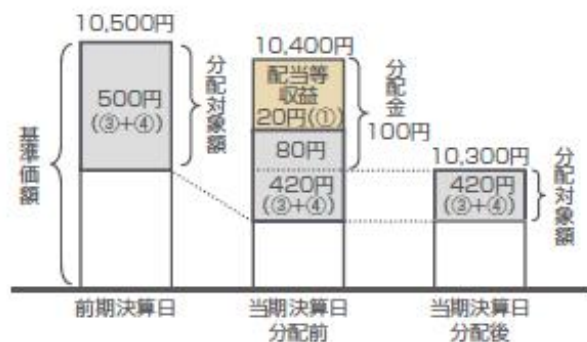
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益 ②経費控除後の評価益を含む売買益 ③分配準備積立金 ④収益調整金です。

### 前期決算から基準価額が上昇した場合



### 前期決算から基準価額が下落した場合



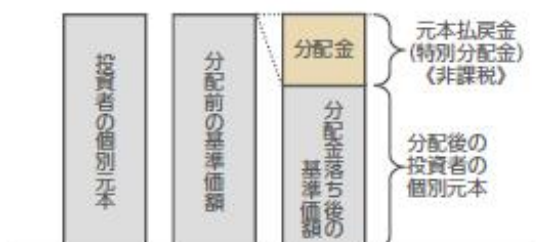
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇ 普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。  
(普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
- ◇ 元本払戻金(特別分配金) … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

- ◆ 投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



(分配金の一部が元本の一部払い戻しに相当する場合の一例)



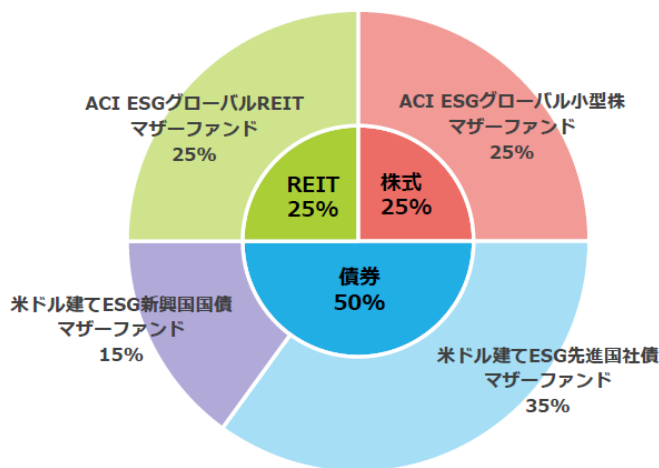
(分配金の全部が元本の一部払い戻しに相当する場合の一例)

分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

# 「グローバルESGバランスファンド（愛称：ブルー・アース）」

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目的に運用を行なうことを基本とします。
- 世界各国(新興国を含みます。)の株式<sup>※1</sup>、先進国の企業(金融機関を含みます。)が発行する米ドル建ての社債等<sup>※2</sup>、米ドル建ての新興国国債等<sup>※3</sup>、世界各国(新興国を含みます。)の不動産関連有価証券<sup>※4</sup>を実質的な主要投資対象<sup>※5</sup>とします。
  - ※1 DR(預託証券)を含みます。DRはDepository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
  - ※2 期限付劣後債、永久劣後債、優先証券(ハイブリッド証券)を含みます。
  - ※3 国債、政府保証債、政府機関債等を含みます。
  - ※4 世界の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託証券(一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。)および不動産ローン担保証券等に投資するモーゲージREIT等(総称して「REIT」といいます。)ならびに不動産に関連する株式およびETFをいいます。
  - ※5 「実質的な主要投資対象」とは、「ACI ESG グローバル小型株 マザーファンド」、「米ドル建てESG 先進国社債 マザーファンド」、「米ドル建てESG 新興国国債 マザーファンド」、「ACI ESG グローバルREIT マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 「グローバルESGバランスファンド」は、分配頻度、為替ヘッジの有無の異なる、4本のファンドで構成されています。
- 各マザーファンドの運用にあたっては、ESG<sup>※</sup>の観点から投資する銘柄を決定します。なお、各マザーファンドへの投資比率は以下を基本とします。
  - ※ESGとは、Environment(環境)、Social(社会)及びCorporate Governance(企業統治)の総称です。



- 各マザーファンドの運用にあたっては、それぞれ以下の委託先に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

マザーファンド名	主要投資対象	運用会社
米ドル建てESG先進国社債 マザーファンド	先進国の企業(金融機関を含みます。)が発行する米ドル建ての社債等(期限付劣後債、永久劣後債、優先証券(ハイブリッド証券)を含みます。)	ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド
米ドル建てESG新興国国債 マザーファンド	米ドル建ての新興国国債等(国債、政府保証債、政府機関債等を含みます。)	ノムラ・アセット・マネジメントU.K.リミテッド
ACI ESGグローバル小型株 マザーファンド	世界各国(新興国を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)	アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク
ACI ESGグローバルREIT マザーファンド	世界各国(新興国を含みます。)の不動産関連有価証券	アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク

- 「為替ヘッジあり」においては、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジ(先進国通貨等による代替ヘッジを含みます。)により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、代替ヘッジによっても為替変動リスクの低減の効果が小さいあるいは得られないと判断した通貨については、為替ヘッジを行わない場合があります。
- 「為替ヘッジなし」においては、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 効率的な運用を行なうため、債券先物取引等のデリバティブ取引をヘッジ目的外的の利用を含め実質的に活用する場合があります。
- ファンドはマザーファンドを通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「グローバルESGバランスファンド」を構成するファンド間でスイッチングができます。
- 分配の方針
  - ◆年2回決算型
    - 原則、毎年5月および11月の18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
    - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。
  - ◆隔月分配型
    - 原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の18日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
    - 分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。
    - \* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
    - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

「グローバルESGバランスファンド（愛称：ブルー・アース）」

【投資リスク】

各ファンドは、株式、債券およびREIT（不動産投資信託証券）等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落、金利変動等による組入債券の価格下落、組入REITの価格下落や、組入株式の発行会社、組入債券の発行体および組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2025年11月18日まで（2020年11月30日設定）
- 決算日および収益分配
  - 【年2回決算型】
  - 年2回の決算時（原則、毎年5月および11月の18日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
  - 【隔月分配型】
  - 年6回の毎決算時（原則、1月、3月、5月、7月、9月および11月の18日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1口単位または1円単位（当初元本1口＝1円）  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 各ファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行  
・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

（2022年5月現在）

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.705%（税抜年1.55%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／  
 一般社団法人日本投資顧問業協会／  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



#### 【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

#### 【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

グローバルESGバランスファンド(愛称:ブルー・アース)  
 (為替ヘッジあり)年2回決算型/(為替ヘッジあり)隔月分配型/(為替ヘッジなし)年2回決算型/(為替ヘッジなし)隔月分配型

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○			
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第7号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第46号	○		○	
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○	
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第44号	○			
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○		○	
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○			
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○		○	
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第2号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第17号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社高知銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社福岡中央銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第14号	○			
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

グローバルESGバランスファンド(愛称:ブルー・アース)  
 (為替ヘッジあり)年2回決算型/(為替ヘッジあり)隔月分配型/(為替ヘッジなし)年2回決算型/(為替ヘッジなし)隔月分配型

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社豊和銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第7号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。